

# 足利市地図



### 首都圏からの主なアクセス

<b>東京駅</b> JR東北新幹線 40分 JR小山駅 JR両毛線 JR足利駅	<b>浅草駅</b> 東武スカイツリーライン 特急りょうもう 75分 足利市駅
---	---

東京から75分!

### 足利市内宿泊施設

<b>中央地域</b> ニューミヤコホテル本館 〒326-0821 南町4254-2 Tel.0284-71-3333 ニューミヤコホテル別館 〒326-0822 田中町634 Tel.0284-72-3333 ホテル高雄 〒326-0053 伊勢町3-8-5 Tel.0284-42-1121 足利タウンホテル 〒326-0814 通2丁目2623 Tel.0284-21-4114 ビジネスホテルニュー大栄 〒326-0826 借宿町281-12 Tel.0284-73-0027	ビジネスホテルかわかみ 〒326-0053 伊勢町3-2-17 Tel.0284-44-1141 Hotel R9 The Yard 足利駅西 〒326-0814 通2丁目9-4 Tel.0284-22-3147 ホテルわかさ 〒326-0812 大門通2374-2 Tel.0284-44-5353 ホテルルートイン足利駅前 〒326-0814 通1丁目2688-1 Tel.0284-40-1300 東横イン栃木足利駅北口 〒326-0053 伊勢町1-1-6 Tel.0284-40-1045
<b>西部地域</b> 地蔵の湯 東葉館 〒326-0143 葉鹿町1981 Tel.0284-62-0136	<b>南部地域</b> ホテルルートイン第2足利 〒326-0831 堀込町2460 Tel.0284-70-8400 Hotel R9 The Yard 足利富富 〒326-0331 富富町2213-1 Tel.0284-43-8933
<b>北部地域</b> 巖華園 〒326-0068 月谷町8-1 Tel.0284-41-2338	

### お問い合わせ

足利市役所 観光まちづくり課  
 〒326-8601 栃木県足利市本城3丁目2145番地  
 ☎ 0284-20-2264 (平日8:30~17:15まで)  
 ✉ kankou@city.ashikaga.lg.jp

HPはこちら



## 中世の歴史薫るまち

# 足利市

# 教育旅行

# パンフレット



# モデルコース

対象 中学生 出発地 首都圏

- 出発** 浅草駅
- 09:50着 東武足利市駅
- 10:00着 下野國一社八幡宮
- 10:20発
- 10:40着 榊崎八幡宮
- 11:00発
- 11:20着 あしががフラワーパーク
- 13:20発
- 13:40着 史跡足利学校
- 14:40発
- 14:50着 鑊阿寺
- 15:30発
- 16:00着 太平記館
- 16:30発
- 16:40発 東武足利市駅
- 到着 浅草駅

日帰りでも充実した旅に  
首都圏からのアクセスも良好!  
足利の歴史と文化、そして豊かな自然に  
触れられる充実したコースです。



# 体験学習

見るだけじゃない。  
足利の歴史と文化と自然を体験しよう! //

## いちご狩り



◎ここがすごい!  
いちごの生産量が全国第1位の栃木県で、いちご狩りを楽しむことができます。  
とちおとめをはじめ、スカイベリーやとちあいかなど種類が豊富です。

受入人数 50名 営業期間 1月上旬～5月上旬  
入園料 一般(小学生以上)/1,400円～1,800円  
幼児/700円～900円  
駐車場 大型バス2台可能

## 銘仙甲冑着付体験



◎ここがすごい!  
昭和初期に一世風靡した足利銘仙などを着ることができます。  
また、足利氏の家紋が入った甲冑を着れば、足利の思い出になること間違いなし!

受入人数 (銘仙着付)要相談  
(甲冑着付)同時8名まで  
所要時間 1時間～3時間

## PICK UP! 足利で人気のお土産

足利に遊びに来たらぜひ買って欲しい!  
人気のお土産をピックアップしました。



栗むし羊かん  
大きな栗が丸ごと1個入った  
茶巾絞り特徴の羊かん。  
草雲羊羹本舗  
TEL0284-21-4771



元祖芋ようかん  
さつま芋の豊かな風味を生かし、代々受け継がれ手作りにこだわった芋ようかん。  
舟定屋本店  
TEL0284-21-3807



古印最中  
創業100余年の老舗菓子店のあんこたっぷり最中。「足利学校」や「鑊阿寺」など足利ゆかりの古印・落款にちなみデザインされています。  
香雲堂本店(通4丁目店)  
TEL0284-21-4964

太平記館では市内お土産品を取り揃えています。 太平記館 TEL0284-43-3000

# 室町幕府を開いた 足利家のふるさと

## 足利氏ゆかりの寺社



榊崎寺跡は、鑊阿寺の開基である2代目義兼が、身内の菩提のため創建。史跡内の榊崎八幡宮は、3代目義氏が八幡神を勧請して義兼を合祀したことが始まりと言われている。



光得寺は、3代目義氏の開基といわれ、足利氏歴代ならびにその重臣らの五輪塔19基が祀られている。明治初期の神仏分離令に伴い、榊崎寺から法縁ある光得寺に移設され、保護されてきた。



毘沙門堂の南西に、鑊阿寺の開基、足利義兼の孫、泰氏がまつたという叶権現がある。



8代目尊氏の曾祖父、5代目頼氏の創建とされ、本堂の後方に頼氏の供養塔が祀られている。「あじさい寺」としても有名で、毎年6月第4土日に「あじさい弁天まつり」を開催している。



3代目義氏が夢のお告げにより、池の底から引き上げた阿弥陀如来像を本尊に1249年(建長元年)に創建したと伝えられ、本堂の南側に義氏の墓所がある。



2代目義兼の長男義純が母(北条時子)の菩提寺として創建した寺で、境内には時子姫の墓である五輪塔がある。なお、書家で詩人の相田みつをの墓もあり、全国各地から多くの方が墓参に訪れる。



1196年(建久7年)、2代目義兼が館の中に持仏堂を立て、大日如来を祀ったことにはじまる。3代目義氏が堂塔伽藍を整備し、足利氏一門の氏寺として隆盛を誇った。平成25年、本堂が国宝に指定された。



1368年(応安元年)、室町幕府初代将軍 足利尊氏を開基、仏満神師を開山として創建された。見事な本堂天井板絵とともに、尊氏の衣冠束帯姿の木坐像も置かれている。



1182年(寿永元年)、足利又太郎忠綱が父俊綱と母の菩提を供養するために、理真上人を開山として開創されたと伝えられている。2代目義兼と時子の持仏と伝えられる秘仏・子安観音や、大涅槃図も置かれている。

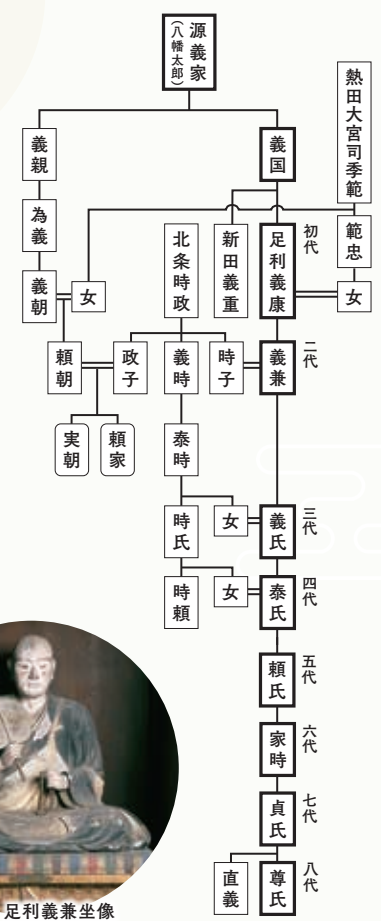


源義国の開基で、本堂の裏山にある開山堂には、開山泰亀円了大和尚の木像と伝えられている。また、境内には板倉一族の墓(五輪塔)がある。



1056年(天喜4年)、源義家が奥州合戦に向かう折、戦勝祈願のため勧請したと伝えられている。数多くの文化財が残る名跡であるとともに、隣接する門田稲荷神社は、「日本三大縁切り稲荷」と言われ、全国から多くの方が訪れる。

## 足利氏略系図



木造 足利義兼坐像 (鑊阿寺蔵)

市の木 イチョウ

市の花 フジ

市の鳥 カルガモ